

巡回拠点なでしこ

かがやき

つうしん

北区立なでしこ小学校校長 原田英孝
巡回拠点なでしこ 巡回指導教員
令和5年2月1日発行 第11号
巡回拠点なでしこ直通: 3901-2622



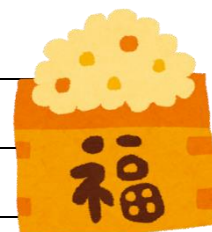
早いもので、今年度も残り2ヶ月となりました。4月と比べると、子どもたちは確実に成長していると感じます。今年度できるようになったことを子供と一緒に振り返り、喜びを共有したいと思います。

また、今年度の目標を改めて確認し、3月には良い締めくくりができるように支援を行って参ります。今月もご理解ご協力をお願いいたします。

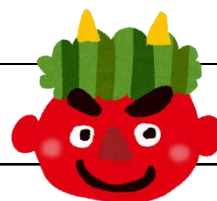


★今後の予定★

保護者面談（3月）	3月 6日（月）～17日（金）
2学期 巡回指導終了	3月14日（火）



★保護者面談について★



【面談日程調整について】

後日、「保護者面談のお知らせ」を配布いたします。ご都合のよい日時を記入していただき、巡回指導担当教員もしくは学級担任へお知らせください。

また、面談の日時が確定しましたら、連絡ファイルを通じてお知らせいたします。学年末のまとめと進級に向けての話ができればと考えております。

ご多用の折とは存じますが、ご協力お願いいたします。

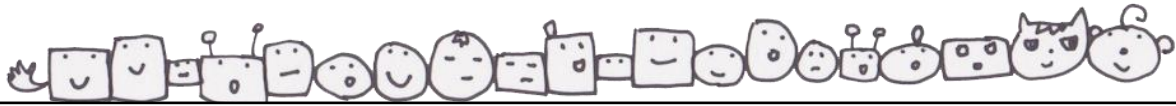
【「特別支援教室に関する確認書」について】

保護者面談の際に、来年度も継続して巡回指導を受ける方は、「特別支援教室に関する確認書」にて来年度の指導内容を確認いたします。内容を確認した上で、ご署名をいただきます。

【連絡ファイル「家庭より」の欄について】

「家で～ができるようになりました。」「～が苦手ですががんばって練習しています。」など、毎週たくさんのコメントをいただいております。成長したところは、一緒に読みながら喜び、褒めることで、自信を付けられるように心掛けています。また、課題については、学習内容に取り入れることで、成長につながるための支援を行っています。

保護者の皆様には、お忙しい中でのご協力に大変感謝しております。



今月のテーマ：実行機能（やり遂げる力） その3

「実行機能」（＝やり遂げる力）のお話は、今回で3回目になります。ご家庭で取り組めそうな方法が1つでもあれば、ぜひお試しください。

スケジュール通りに生活することが難しい。



① 「やるべきこと」と「やりたいこと」を分けて、優先順位を考える。

就寝するまでに「やるべきこと」と「やりたいこと」を話し合いながら書き出し、優先順位を付けます。親の意見を一方的に伝えるのではなく、子供が納得して取り組めることを目指して話し合います。



② 次にやることがわかるようにする。

目立つ場所に、やるべきことのリストを貼り出します。1つずつチェックしながら進めるタイプや、終わった項目にマグネットで印を付けていくタイプなどがあります。「次に何をやるんだっけ。」「今は何をやる時間だっけ。」など、子供が思い出すためのきっかけとなる言葉掛けが有効です。



③ 切り替えのタイミングを合図する。

好きなことに夢中になり、行動を切り替えることが難しい場合は、キッチンタイマーなどを合図として活用します。子供がタイマーをセットし、スタートを押すことを習慣にします。

④ 余計な物が目に入らないようにする。



決めたことを最後までやり遂げるには、余計な物が視界に入らないようにすることが重要です。「食事や着替えをするときはテレビを消す。」「宿題に取り組んでいるときにゲームやおもちゃが気にならないように、棚にシートをかけて隠す。」など、子供が集中できる環境を整えることを意識します。

参考文献：『家庭で育てる 発達が気になる子の実行機能』鴨下賢一編著 中央法規

